



東日本大震災から6年が過ぎました・・・

子育て支援施設3館から発信する防災の取組み

すくっぴーひろば



多賀城在住のイラストレーターアベナオミさん作の防災の
知恵いっぱいのパネルも展示しました！



すくっぴー親子DE減災・防災

(兼 減災市民会議 2017)

3月12日(日)、「すくっぴー親子DE減災・防災」がすくっぴーひろばで開催されました。

東北大学災害科学国際研究所の柴山准教授を講師に、災害時の注意点や行動をクイズ形式にした「防災クイズ」や、小さい子どもがいる家庭で備えるべき物を考えるワークショップの他、尾西食品様から提供いただいた非常食の試食などをつうじ、減災と防災のために、自分ができることを考えました。

参加した方たちからは「多賀城の被災した場所を確認し、その上で防災品を考える流れだったので、当時を思い出しながら参加できた」「非常時の行動・持ち物など、子どもがいる時ならではの対応の必要性を強く感じました」という感想がありました。いつ起きるか分からない災害に向けて、家族を、そして、我が子を守る「備え」について、改めて考えるきっかけともなっていたようでした。

西部児童センター



震災復興イベント

～みんなでケロゾーを たすけよう～

3月11日(土)、西部児童センターで開催された「みんなでケロゾーをたすけよう」では、子どもたちが、重さ25キログラムの(怪我をした設定の)カエルの人形を運ぶためにはどうしたらいいのかを考え、ダンボールなどを即席の担架にして、協力してケロゾーを助けだしたり、アレルギー対応クッキーの試食などをしました。子どもたちは、体験しながら、防災のための知恵と工夫を学びました。

鶴ヶ谷児童館



防災ママカフェ

3月15日(水)、鶴ヶ谷児童館で「防災ママカフェ」が開催されました。

アルファ米を実際に調理して試食したり、缶スープやアレルギー対応クッキーを食べながら、防災について語り合いました。

いざという時のさらしおんぶ体験なども行いました。参加したママたちは、防災や減災のために、普段から「備える」大切さを改めて感じていました。

虐待について考える研修会が開催されました



3月23日(木)、市民活動サポートセンターで「たがじょうで たのしく そだつ プロジェクト 児童虐待問題について考える研修会～複雑な問題を抱える家庭への支援について～」が、支援者向けに開催されました。講師に、みやぎ心のケアセンター副センター長の山崎剛氏を招き、母親への支援、関係機関との連携のポイント、支援者自身のこころの健康などについてお話しいただきました。参加した方たちからは、「共感できる内容だった」「分かりやすいお話だった」「参加して良かった」という感想がありました。興味深い内容で、非常に勉強になった研修会でした。

そだつ
soda+

soda+(そだつ)は、「多賀城で楽しく育つ」ための、子育て世代応援のための情報誌です。子育てママやパパ達と一緒に作って作り上げます。
soda+は、「soda(育つ)と「t(多賀城のt)を掛け合わせた言葉です。子どもが育つ、大人が育つ、だから、まちが育つ…をコンセプトに、これからも、素敵な情報発信をしていきます！」